

1 平成27年度外部評価の総括

平成27年度の外部評価については、ヒアリング評価により8施策の評価を実施したところです。

なお、限られた時間の中で評価するのは困難なことではありましたが、その中で可能な範囲で評価を行いましたので、御理解くださいますようお願いいたします。

(1) 外部評価報告書における外部評価シートの掲載方法について

各施策の判断理由、コメント欄(今後の施策運用に関する改善策、その他意見等)への各委員からの意見を掲載しています。

また、施策評価に係る外部評価シート(P6～P48)の各評価項目の判断区分A～Cの評価は、一つにまとめず、各委員が判断したA～Cの評価人数を掲載しています。

なお、各評価項目における色塗り箇所は、「評価項目」において、委員6名のうち最も多い「判断」を表しています。

(2) 内部評価における改善点について

- ① 施策の指標における成果(主な指標)がアウトカム(成果)指標ではなく、アウトプット(出力)指標となっており、事務事業レベルの指標や施策の全体の状況を把握できる指標となっていないものがありました。指標の設定においては、補完的なものとして市民満足度などの指標も加える必要があると考えます。
- ② 補助金等の事業については、内部評価を実施する際には、補助金支出に関する事業のアウトプット(出力)やアウトカム(成果)をしっかりと把握することが重要です。また、市が補助金を支出している団体に依存しすぎることなく、当該事業が施策の目的を達成する手段で効果的に実施されているか評価することが必要であると考えます。
- ③ 施策の目的を実現するための事務事業の構成が不適切なものが、見受けられました。事務事業の構成については改善が必要であると考えます。

- ④ 内部評価に当たっての十分な説明（総評）がなされていないものが散見されました。行政評価シートは、適切に市民に分かりやすい表現を意識することが必要であると考えます。

（３）外部評価の活用について

戸田市では、内部評価として施策評価に加え、事務事業評価を行っています。さらに、これら内部評価にとどまらず、「施策」に焦点を当てた外部評価を実施しています。戸田市の外部評価委員会では、内部評価に対して、施策の進捗状況や資源の方向性といった観点から再評価するなど、内部評価の評価を行っており、内部評価の精度向上や適正に評価・管理できる人材の育成を目的として実施しています。

また、平成27年度戸田市外部評価委員会から、公認会計士の代わりに新たに市民活動団体関係者を委員として加え、協働の視点の強化に取り組み始めています。

今後においても、効果的な外部評価制度として、有効活用に努めていただきたいと思いますと考えております。

外部評価の更なる発展、充実のため、戸田市外部評価の今後に向けて、平成27年度戸田市外部評価委員会として、以下、2点の改善策を提案します。

- ・ 資源の方向性を判断する際には、専門的な知識が必要になる場合があります。そのため、公認会計士の委員を追加して、学識有識者2名、公認会計士1名、市内企業経営者1名、市民又は市内活動団体関係者3名の合計7名で外部評価委員会を運営していくことを提案します。
- ・ 今後も内部評価を外部から様々な視点で評価し、適切な評価を促すとともに、評価結果を施策に反映できるよう、継続的に内部評価で確認していく仕組みを構築することを提案します。

戸田市の外部評価は、平成20年度から試行実施され、今年度で8年目となり、外部評価に対する戸田市職員の意識も前向きなものになりつつあります。また、適切な委員構成を検討するとともに、事務事業を対象とする外部評価から施策を対象とする外部評価に変更するなど様々な試行錯誤により、制度の一定の構築に努めてきたことや第4次総合振興計画後期基本計画のスタートする時期に合わせて、外部評価制度の本実施に移行する段階に入っていると考えます。

最後に、今後も外部評価委員会の意見を活用し、業務の有効性、効率性の向上を図り、成果を高めていただきたいと思います。

平成28年2月23日（火） 戸田市外部評価委員会